

坂井市・小中

履修遅れ年内回復

総合教育会議 市教委が報告

本年度の第1回坂井市総合教育会議が28日、市役所で開かれた。臨時休校による市内小中学校の科目履修の遅れは、年内に取り戻せる見通しと報告された。

坂本憲男市長や川元利夫

教育長、教育委員4人らが出席した。3～5月の臨時休校で履修は大幅に遅れていたが、市教委は「授業の時間割を工夫することで遅れを取り戻している」と報告。このまま順調に進めば、年内には例年と同程度まで

履修できると述べた。

小学6年生と中学3年生の修学旅行については、県内と旅行先の感染レベルが低く、県をまたぐ移動の自粛が国や県から出ていない地域に絞って実施すると説明。出発前日まで感染状況を見極め、直前の中止や延期もあるとした。

小学校は9月から11月、中学校は9月中旬までをめぐりに実施する予定。旅行先の感染状況によっては、訪問先の変更もあり得る。

また、2021～30年度を計画期間とする市の第2次教育振興基本計画について議論した。教育大綱を包括した形で前期5年間の計画を策定することを確認した。

(伊豆倉知)